

2005年度事業活動ハイライト

「中期経営計画2007」順調にスタート

2005年4月、2007年度を最終年度とする中期経営計画（以下、07中計）がスタートしました。「Upward 07—さらに上、目指そう—」をスローガンに、従業員全員が「品質 Step Up!」「人財 Power Up!」「企業価値 Grade Up!」に取り組んでいます。

初年度である2005年度には早くも連結売上高の目標である3,800億円をクリアすることができ、4期連続で増収増益となりました。今後は、連結営業利益額304億円の達成を目標に取り組みます。

■07中計のスローガン

Upward 07

さらに上、目指そう。

品質 Step Up!

人財 Power Up!

企業価値 Grade Up!

■07中計の目標

連結売上高 3,800億円

連結営業利益額 304億円

連結営業利益率 8.0%

■2006年度全社方針

1. **新たな成長路線** 投資効果を重視し、慎重に成長型企業構造への転換を図る
2. **企業体質改善** 「ものづくり」を重視し、競争力溢れたグローバルサプライヤーとしての体質強化を図る
3. **経営構造改革** コンプライアンスを重視し、グループガバナンス体制を再構築し、更に透明な経営姿勢を貫く

連結・単独ともに増収増益

2005年度（2006年3月期）の連結および単独決算は、主要分野である自動車および情報通信関連が堅調に推移したことに加え、品質・コスト・納期において様々な取り組みを行ったことから増収増益となりました。

連結では、売上高が前期比で14.5%の増収、経常利益は23.4%の増益、当期純利益は71.2%の増益となりました。

また当社単独では、売上高15.0%の増収、経常利益は31.7%の増益、当期純利益は39.3%の増益となりました。

2006年度は、収益のさらなる向上をめざし、全社一丸となって取り組んでいます。

■最近5年間の業績推移（連結）

	売上高	経常利益	当期純利益
2002年度	249,855	8,197	3,092
2003年度	280,950	12,706	6,910
2004年度	334,704	19,136	8,986
2005年度	383,096	23,612	15,389
2006年度 (予想)	419,200	26,600	15,400

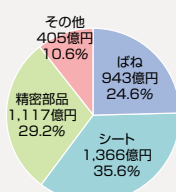
単位：百万円

■最近5年間の業績推移（単独）

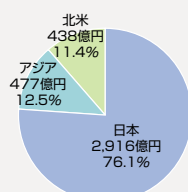
	売上高	経常利益	当期純利益
2002年度	150,266	5,419	2,800
2003年度	172,566	6,660	4,197
2004年度	202,319	12,068	6,686
2005年度	232,627	15,891	9,313
2006年度 (予想)	235,700	17,300	10,500

単位：百万円

■事業別区分売上高（連結）



■地域別区分売上高（連結）



工場棟など相次いで新設

2005年度、生産の拡大などにとまない、複数の事業所で工場棟新設などを行いました。

伊那工場は2005年6月、製品の窒化処理を行うGCN設備を増設するとともに、工作棟を移転新築しました。GCN設備は2台ありましたが、受注の増加にとまない能力増強するため、建屋を新築して最新設備を導入したものです。これにより窒化処理能力はこれまでの約2倍になりました。

同年11月、豊田工場では第6工場が完成しました。これまでの生産スペースが手狭になってきたことから、駐車場だったところに鉄筋2階建ての工場を建設したものと

です。量産とともに自動化を含む開発も進めています。

2006年3月には、営業拠点の一つである横浜分室が、業務効率の一層の向上を目的に、発展目ざましい「みなとみらい21」地区の中央部にあるオフィスビルに移転しました。

また、2005年9月から建設していた厚木工場の事務棟が、2006年4月に完成しました。2階建てで1階は精密ばね、2階はDDSの各部門のオフィスになっています。これまで分散していた本部やスタッフ部門が、ワンフロアに集結したことにより一層の業務効率化が進んでいます。



豊田第6工場



厚木工場新事務棟

「ものづくり」への取り組み、さらに活発に

2005年からスタートした中期経営計画の目標達成に向け、当社はメーカーの原点である「ものづくり力」の一層の深耕と活性化に取り組むため、従来の「生産革新活動」を「ものづくり革新活動」に名称変更し、委員会名も改称しました。「見える化の徹底」と「新たな挑戦」をキーワードに取り組んでいます。

これまでの活動のさらなるグレードアップをめざし、開発段階からのものづくりを検討するため、研究開発本部管理企画部長を委員に加えました。また、1工場から1名ずつだった委員を、全生産部門から各1名の体制にするとともに、製造課長レベルにも取り組みを発表してもらう機会を設け、活動の拡大を図っています。

●「ものづくり伝承塾」開設

当社は「ものづくりは人づくり」という考えのもと、ものづくりの基礎を学ぶ場として、2005年4月に「設備道場」と「標準作業道場」からなる「ものづくり伝承塾」を開設しました。新入社員研修をはじめ、主に若手社員が基礎を学び仕事に役立てる場として活用しています。

そのほか、滋賀工場「行動館」を皮切りに各工場で開催している工場内の訓練施設では、それぞれの工場の状況に合わせた道場を設け、安全、品質、環境保全など、具体的な訓練でものづくりの基本を習得しています。



「ものづくり伝承塾」で基礎を学ぶ



実際の作業に必要なルールや知識・行動を習得するエリアを工場内に設置。シート横浜工場の「訓練広場」